

建設課長の仕事宣言！ 進行管理表

建設課長 内田 又二

重点事業の概要〔事業名：道路新設改良事業・小学校周辺交通安全対策整備事業〕

〔目標値：生活道路モデル地区指定数＝5か所〕

- この事業は、《安全・安心・快適な道路づくりプロジェクト》に位置づけられた事業で、市街地を通過する自動車交通の処理や沿線市街地の良好な環境を確保するため、幹線道路の効果的・効率的な整備に取り組み、また、生活道路でも、安全で快適な道路の整備を進めます。具体的には、大刀洗・立石線の道路改良事業を推進するとともに、市内の各小学校の通学路を対象に、歩行者通行帯のカラー着色を主体とした交通安全対策を図っていきます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業として、大刀洗立石線の改良工事を推進しており、国道部を整備範囲とする本年度工事をスムーズに着手できるように、国道管理者との交差点協議や道路占用事業者との電力通信柱等の移設協議を進めており、関係機関との連携を図りながら工事を発注しております。 ・交通安全対策については、各小学校の通学路の一部において交通状況や道路状況の調査結果を踏まえ課題を整理し、効率的で効果的な交通安全整備の発注準備を進めております。
	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業及び交通安全対策は、事業計画に基づいた進捗が図られております。
	下半期への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・大刀洗立石線は、速やかに工事着手できるように、今後も国や道路占用事業者との協議調整等を円滑に進め、早期完了に向けた取り組みを進めてまいります。 ・3小学校区における歩行者通行帯のカラー着色を主体とした交通安全対策工事を発注し、安全で安心な通行帯の確保を目指します。
下半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・大刀洗立石線道路改良事業は、国との交差点協議が整い、また道路占用施設の切り替え方法や工程などの協議を行い、国道部及び取付け市道部の工事を進めております。 ・歩行者通行帯のカラー化による交通安全対策については、3小学校区の施工を進めており、安全で安心な通行帯の確保が期待できると考えております。
	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・懸案であった国道の交差点協議や道路占用施設の移設協議が図られ、年内の工事着手が可能となった。
	目標値の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大刀洗立石線道路改良事業は、国の交付金配分減による事業期間の延長が必要になっており、関係機関に交付金必要額の確保を働きかけ、平成28年度の完了を目指します。 ・平成26年度は3小学校区の路線の一部が整備される見込みであり、平成27年度も引き続き、歩行者通行帯のカラー着色を主体とした交通安全対策工事を進めます。
	次年度への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・大刀洗立石線道路改良事業及び、歩行者通行帯のカラー着色を主体とした交通安全対策工事について、早期に完了するよう努めます。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

（上半期）道路改良事業については、今後も引き続き関係機関との連携を図りながら、事業の進捗に努めること。また、交通安全対策については、効率的効果的な工事の発注に努めること。

（下半期）大刀洗・立石線については、関係機関との協議を図りながら早期完成を目指すこと。また、交通安全対策については引き続き効率的効果的な工事の発注に努めること。

建設課長の仕事宣言！ 進行管理表

建設課長 内田 又二

重点事業の概要〔事業名:公共施設マネジメント事業〕〔目標値:公共施設保全計画策定進捗率=100%〕

〇この事業は<市民に信頼される市役所プロジェクト>に位置づけられた事業で、経年変化に伴う物理的劣化等に対応するため、修繕・改修等による性能の維持・向上によって、長期的な公共施設の有効活用が図られることから、各施設の特性に応じたマネジメント内容の計画策定を進めていきます。具体的には、公共施設の劣化、修繕履歴、施設運営に係るコスト調査を行ったうえで、施設の延命化、最適化の検討を行い、公共施設の整備時期、方向性（改築、改修、転用、廃止等）等について検討を進め、公共施設の中長期保全計画の策定を行います。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	昨年度、公共施設における改修及び修繕費用の算出と改修時期の検討を行いました。今年度は公共施設等総合管理計画策定の要請があつていることから、総務省より提供された公共施設等更新用試算ソフトを使い、将来の更新費用の試算を行っています。
	自己評価	総務省より提供された公共施設等更新用試算ソフトを使った将来の更新費用の試算結果と合わせることで、公共施設の中長期保全計画の策定ができるものと考えております。
	下半期への対応	公共施設等総合管理計画の策定を踏まえ、庁内推進準備体制を築き、各施設の現状把握、課題整理を行うこととしています。
下半期	取組実績	公共施設等総合管理計画の策定を踏まえ、公共施設等更新費用試算ソフトを使い、公共施設全体（建物、橋梁、道路、上下水道）における将来の更新費用の試算を行いました。
	自己評価	公共施設中長期保全計画の上位計画である公共施設等総合管理計画の基本情報や課題の整理を行いました。
	目標値の達成状況	平成28年度までに公共施設等総合管理計画を策定する必要があり、その計画と連動するかたちで公共施設中長期保全計画を策定することが重要となります。
	次年度への対応	次年度、施設白書を作成したうえで、今後の方向性である適正な公共施設の量と機能の見直しを行い、公共施設等総合管理計画及び公共施設中長期保全計画の策定を進めていきます。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

（上半期）

早い時期に公共施設の中長期保全計画の策定ができるように努めること。

（下半期）

引き続き、早い時期に公共施設の中長期保全計画の策定ができるように努めること。

建設課長の仕事宣言！ 進行管理表

建設課長 内田 又二

重点事業の概要〔事業名：道路里親制度事業〕〔目標値：道路里親制度加入団体数＝18団体〕

○この事業は、《みんなで進める新しいまちづくりプロジェクト》に位置づけられた事業で、市民協働のまちづくりを進めるとともに、道路美化・景観の向上を推進するために、市道の美化活動のボランティア事業を進めていきます。市民のボランティアによる道路の環境美化活動を通して、市民協働の意識の向上やまちづくりへの参画機運の拡充を図っていきたくと考えています。具体的には、道路里親の新たな担い手となる団体や個人の募集のため、市報やホームページ等を活用して、広報の充実を図っていきます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	道路里親団体の15団体の責任者の方々と、情報交換・意見交換を平成26年4月25日に行いました。この中で、道路里親により道路美化活動を行う際の問題点や課題が協議され、様々な意見や提案等が出され、有意義な情報交換会となりました。また、ホームページ等による広報の成果として、6月に新規団体の加入がありました。
	自己評価	里親団体との意見交換を行い、現場の声を聞くことにより、今後の里親制度の充実に向けて課題や問題点の把握ができました。
	下半期への対応	年度末までに、第2回目の意見交換会を行い、里親募集の発信の充実を更に進めていきます。
下半期	取組実績	ホームページ、市報掲載により制度のPRを行いました。また、一般社団法人道路新産業開発機構の「道路行政セミナー 平成26年11月号」への記事掲載を行い、情報発信を行いました。
	自己評価	広報の成果として、里親団体の加入数が年々増加しています。
	目標値の達成状況	平成24年度 14団体 平成25年度 15団体 平成26年度 16団体（1月末現在）
	次年度への対応	道路里親団体の活動状況のPRなどを行い、更なる情報発信を行う必要があると考えています。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

（上半期）

制度の活用、周知についての広報に努めること。

（下半期）

意見交換会や広報の充実による情報発信に努めること。